

学びをつなぎ、学校と地域をつなぐエコ・スクール活動

— エコ・スクール認定校が環境大臣表彰を受賞 —

将来の社会づくりの主角となる児童生徒が、主体的に環境学習や環境保全活動に取り組む力を身につけることを目指し、学校全体で地域とともに活動する学校を「エコ・スクール」として滋賀県独自に認定・推進しています。

この「エコ・スクール」に取り組み、長年知事より認定を受けている県内の小学校2校について、地域とともに行う環境保全活動が認められ、地域環境保全功労者として環境大臣の表彰を受けました。



巻頭特集

学びをつなぎ、学校と地域をつなぐエコ・スクール活動

表彰された2校の活動内容 <環境政策課>

●人と人、人と自然とのつながりを学ぶ環境学習 地域の人々とつくる「葉山川博物館」

草津市立笠縫東小学校では、平成17年度から滋賀県のエコ・スクール事業登録校として校区に流れる葉山川を中心とした環境学習が行われています。

全学年を通じた活動では、自分の育ったふるさとの環境に愛着や誇りを持つことをねらいに、地域の方々サポートのもと環境学習を行うほか、活動内容を地域の方々に向け発表する「葉山川博物館」を開催するなど、子どもたちと地域との「つながり」を特に重要視した環境学習が続けられています。



4年生「葉山川探検」



「葉山川博物館」

●見つけて 考えて 連携する 環境教育の実践

東近江市立能登川南小学校では、平成15年度から滋賀県のエコ・スクール事業登録校として、近隣の里山活動、河川の水質調査活動に加え、校内の省エネ・省資源活動に全校を挙げて取り組まれています。

「緑を育て、川を守り、地球にやさしくしよう」というキャッチフレーズの下行われるこれらの活動は、学校を核に、地域の有識者で構成するエコ・スクール支援委員会やまちづくり協議会、地域教育協議会、PTAなどと連携しながら、地域ぐるみの活動として展開されています。



伐採した竹を使用した竹垣づくり



エコ・スクール委員会による川の清掃活動の様子

トピックス TOPICS

【中国・湖南省との友好提携30周年】

環境学習を通じた両県省の子どもたちの交流

<観光交流局国際室、環境政策課>

昭和58年に滋賀県と湖南省が友好提携を結んでから30年。今回初めて両県省の交流の原点である「環境」をキーワードとした次世代を担う子どもたちの友好交流を、実施しました。

湖南省の子どもたちは、平成25年8月8日から10日にかけて、琵琶湖博物館での環境学習、森林環境学習「やまのこ」体験、大津市立逢坂小学校でのエコ・スクール活動体験、学習船「うみのこ」でのびわ湖環境学習を通じて、環境学習の大切さを学ぶとともに、県内の子どもたちと交流しました。

交流プログラムを通じて、滋賀県の豊かな自然環境や学びの場としての価値を発信することができました。



逢坂小学校周辺の吾妻川での水生生物調査体験の様子

トピックス TOPICS

滋賀県における今後の環境学習のあり方についての滋賀県環境審議会答申 <環境政策課>

滋賀県環境審議会では、平成24年10月に「滋賀県における今後の環境学習のあり方検討小委員会」を設置し、約1年をかけて、「滋賀県における今後の環境学習のあり方」について検討結果をまとめ、平成25年9月に知事に答申が手渡されました。

答申では、「人づくり、その先の社会づくりへ」の考えのもと、気づく、学ぶ、考える、行動するといった人づくり（人材育成）によって、行動する、つながる、解決するといった持続可能な社会づくりを進めていくことが提言されました。

環境学習に関わるあらゆる主体が協働や連携をより意識し、持続可能な社会の実現に向けて、滋賀がまるごとつながり、そして、実践していくことが大切です。

答申の内容は、滋賀県環境政策課ホームページに掲載しています。

WEB <http://www.pref.shiga.lg.jp/d/kankyo/>